

# Mifa



## MIFA NEWS

No. 53

3/31.2010

Moriya International Friendship Association

守谷市国際交流協会広報委員会発行

MIFA連絡先(守谷市国際交流協会担当)

所在地: 守谷市大柏950-1 電話: 0297-45-1111

URL: <http://www.fureai.or.jp/~mifa>



日メコン交流年2009

ラオス国立音楽舞踊団の少女たち

### 2009年度(平成21年度)の主な事業

- 4.11 英語でおしゃべり パート3
- 4.26 MIFA理事会
- 4.26 中国語でおしゃべり
- 5.13 日本語講師のためのレベルアップ研修会
- 5.20~7.22 第43回外国人のための日本語講座
- 5.31 Welcome to MIFA
- 5.31 MIFA総会
- 5.31 MIFA臨時理事会
- 6.13 大島賢三前国連大使講演会「日本と国連」
- 6.20 「ようこそ守谷へ2009」出展
- 6.20 ABCで遊ぼう!
- 6.30 MIFAニューズレターNo51発行
- 7.25・26 JICA研修員ホームステイ
- 8.22・23 北守谷地区夏祭り出店
- 8.29・30 きらめき守谷夢彩都フェスタ2009出展
- 9. 9 日本語ボランティア講師のための勉強会
- 9.12 英語でおしゃべり パート4
- 9.16 日本語ボランティア講師のための勉強会
- 9.27 MIFAフェスタ2009「われら地球人」
- 9.30~12.2 第44回外国人のための日本語講座
- 11. 8 青年交流委員会新会員歓迎パーティー
- 11.16 国際理解WG「放課後こども教室」
- 11.30 MIFAニューズレターNo52発行
- 12. 7~16 「21世紀東アジア青少年大交流計画」  
「日メコン交流年2009」ラオス青少年来日
- 12.13 日本・ラオス伝統芸能共演及び交流会
- 1. 9・10 筑波大学外国人留学生ホームステイ
- 1.16 西村六善前メキシコ大使講演会
- 1.20~3.24 第45回外国人のための日本語講座
- 2.20 英語でパネルディスカッション
- 2.27 MIFAコンサート「フラメンコ Son de Alegria」
- 3.13 MIFAサロン「日系アメリカ人の歴史」「みんなでグリーリーに行こう!」
- 3.13 国際理解WG勉強会「アフリカのコーヒー生産者を支援する日本のNPOの活動報告」
- 3.31 MIFAニューズレターNo53発行

# MIFAコンサート

# 情熱のフラメンコ



2月27日、朝から雨が降り続くあいにくのお天気でしたが、こころログハウスは、情熱のフラメンコが行われるとあって、熱気に包まれていました。

第14回を数えるMIFAコンサート。これまでさまざまな国の音楽を紹介してきましたが、今回は申し込みが殺到。すぐ定員に達してしまいました。初めの予定ではテーブルを用意し、食べながら、飲みながらフラメンコを楽しむ予定でしたが、少しでも入場者を増やすために椅子だけとし、軽食は休憩時間に小ホールを使うことにしました。それでも後から申し込まれた方はお断りするしかありません。心配された雨も開場少し前には止んでくれました。

フラメンコは、人生の喜びや悲しみを熱いリズムに乗せて、全身全霊で表現します。今回お呼びした「ソン・デ・アレグリア」のメンバーは、スペイン人のカンタオール（男性歌手）やパーカッションリストなど世界で活躍してきたメンバーが中心になって活動しているグループです。カンタオールは合気道を修行するために来日し、そのまま日本で活動されていますが、陽気なラテン系の方らしく曲の合間には達者な日本語で冗談を言うなど、とても気さくな方でした。バイラオーラ（踊り手）の女性たちも、いかにも「踊るのが好



き。踊ることが私のすべて」といった感じで、自分たちも楽しんでいる様子がとても印象的でした。「ソン・デ・アレグリア」は「喜びの音」、また、「楽しい人たち」という意味があります。

第1部と第2部の間の休憩では、市内でスペイン料理を習っているサークルの人たちがピンチョスを作ってくださいました。ピンチョスとは小さく切ったパンに少しの食材がのせられたもので、日本では食材を串や楊枝で刺して留めることが多いようです。

フラメンコを楽しんだだけでなく、スペイン料理も堪能した一日でした。

## 目メコン交流年2009 日本・ラオス芸能文化交流



12月12日から14日、「21世紀東アジア青少年大交流計画」「目メコン交流年2009」で来日したラオス国立音楽舞踊団の10人が守谷市に滞在しました。

音楽舞踊団の生徒は、7年間の高等教育を終えるとプロのダンサーとして働き始めます。地方出身者で地元の自治体から資金援助を受けている生徒は学校の寮に住み、卒業後は地元に戻り自治体に所属するダンサーとなることが求められます。多くはレストランやホテル、ナイトクラブなどでダンサーとして働きますが、最も優秀な卒業生は、国立舞踊団の一員になります。

12日は、日本文化を学んでもらおうと、日本舞踊の若柳流の稽古場やお茶席の体験をしました。翌13日は日本・ラオス伝統芸能交流会がログハウスで行われ、日本からは箏、日本舞踊、ひょっとこ踊り、ラオス舞踊団からは3演目

（フラワーダンス、絹の踊り＝写真＝、耕作の踊り）が披露されました。最終日の14日は市長を表敬訪問。その後牛久大仏と大洗水族館を見学しました。

# MIFAフェスタ2009!



秋、恒例のMIFAフェスタが、9月27日、ログハウスで行なわれました。

昨年はMIFA設立20周年記念事業の一環として中央公民館で行なったため、2年ぶりにMIFAの活動拠点に戻っての開催でした。

JICAの参加者が20人と例年になく少なかったのですが、それでも「おかげでゆっくり交流ができた」という人もいて、少なれば少ないなりに参加した人たちは楽しんでいただいていたようでした。JICA研修員が披露するパフォーマンスタイムもあり、「もう少し一般の方の参加が多ければ」といった感想も聞かれました。

今後は、外国の方と気軽に触れ合える秋のイベントとして、会員以外の方にもっとインフォメーションしたいと考えています。



## 放課後こども教室

11月16日、国際理解ワーキンググループが松ヶ丘小学校で、「太平洋の島国」をテーマに「放課後こども教室」を開きました。地球儀を見たり地図にシールを張ることで、太平洋にはたくさんの島国があることを知りました。この教室が外国の人たちを理解し、仲良くすることが身近な国際交流であることを知るきっかけになってくれればと思います。



## 外国人のための日本語講座



今年度もボランティア日本語講座を3回、講師を対象とした講習会も春と秋に開催しました。

外国人にとって日本語は難しく、職を求めて日本に来てても言葉の壁にぶつかる外国人も大勢います。少しでも早く日本に馴染んでもらい、生活に困らないようお手伝いしたいと思っています。

## 21世紀東アジア 青少年大交流計画 インド 第5陣

平成19年度から始まった「21世紀東アジア青少年大交流計画」。21年度はラオス国立音楽舞踊団を受け入れました。今年も「インド第5陣（大使館特別枠、別名日本語陣）」の受け入れ要請がJICEからありました。

これまでの高校生や文化交流といった選抜枠ではなく、日本語スピーチコンテストなどの優秀者、インドにおける日本語教師、企業の日本語教育関係者

など日本語能力の高い人が選抜され、来日します。ほかのグループにも増して、日本への憧れや興味の強い人たちで、日本文化を体験することに大きな期待を持たれていると思います。今のところ来日時期は6月下旬、人数は25人で、6月25日から27日までの2泊3日のホームステイが予定されています。

今回のホームステイ受け入れはMIFA会員に限らず、市民の方で興味がある方もと考えています。詳細が決まりましたら、広報もりやなどでホストファミリーを募集しますのでぜひ応募してください。

また、市民との交流会を行う予定です。四大文明発祥の地としても知られ、これからの発展が予想されるインド。

皆様の参加をお待ちしています。

# 西村六善前メキシコ大使講演会



1月16日、ログハウスを会場に行われた第16回「世界を知るシリーズ 大使講演会」は、西村六善前メキシコ大使をお招きして、「低炭素に向かう世界と日本～人々の暮らしの面から」と題しお話を伺いました。西村氏は、昨年コペンハーゲンで行われた「COP15」の日本代表（地球環境問題担当特命全権大使）を務められた方です。

お話の中で西村氏は、地球温暖化による被害状況、COP15における交渉の様子やアメリカ、中国の現状など氏が直接関わった経験をお話くださいました。

私たちが今しなければならないことを分かりやすく説明してくれた講演会でした。

## 英語でパネルディスカッション

語学研修委員会では、文法や間違いを気にせず楽しく外国語でおしゃべりをする企画を行なっています。

2月20日に行なわれた企画ではこれまでと少しスタイルを変え、初めに、アメリカで教鞭をとられていた高倉直さんからアメリカでの生活体験をお話いただいた後、ネイティブスピーカーを含む小グループに分かれディスカッションを行ないました。



主催者が発言を促すまでもなく、各グループとも活発な話し合いが行なわれ、参加者に楽しんでいただける内容となりました。

## MIFAサロン

### 日系アメリカ人の歴史



3月13日、ログハウスを会場に、元ALTのカルル高上さんをお迎えして「日系アメリカ人の歴史」についてお話いただきました。

あまり知られていない歴史的苦難や社会的役割、日本人として誇るべき偉業など、これからの日米関係を考えるときの参考になるお話でした。

## 筑波大学留学生ホームステイ

MIFA事業の中でも特に人気が高い筑波大学留学生をお招きしてのホームステイが、1月9日から10日にかけて行われました。

今回のゲストはメキシコ、フィリピンなど6カ国7人で、対面式では、それぞれ写真や小道具を用意して自国の紹介を行いました。日本側は、お茶席を用意し、



ゲストにも実際にお茶を点ててもらい、使ったお茶碗はお土産として差し上げたところ、皆、大喜びしていました。

## フェアトレード

～アフリカのコーヒー生産者を支援する日本のNGOの活動報告



フェアトレードとは公平貿易、公正貿易と訳されています。途上国で作られた商品を適正な価格で取引することで、貧しい人々の自立につなげる貿易の仕組みです。3月13日、ログハウスで行なわれた国際理解WG勉強会では、



コーヒー発祥の地、東アフリカから直接輸入されたコーヒーを飲みながら、アフリカでコーヒーの生産農家を支援しているNPO法人ハーベストタイム代表の津田久美子さんのお話を伺いました。